

令和8年度

令和8年9月18日(金)発行

東京都立清瀬特別支援学校

校長 稗田 知子

支援部キャリア担当

かがやけ☆清瀬キャリアロード No.3

日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

本号では、中学部3年生による上級学校訪問(東久留米特別支援学校)及び教員向け施設見学会(東久留米さいわい福祉センター)について、紹介いたします。

中学部3年生上級学校訪問(東久留米特別支援学校)

7月1日(水)、上級学校訪問として東久留米特別支援学校を訪問しました。

「3R 事業部」「ファーム事業部」「クリーン事業部」「オフィス事業部」「フード事業部」の五つのグループに分かれて、作業学習を体験しました。

作業体験では、各事業部の朝のミーティングを見学したり、高等部の先生や先輩方から仕事の進め方を丁寧に教えてもらったりしました。

初めは、生徒に緊張した様子が見られましたが、高等部の先生や先輩方と一緒に活動する中で、すすんで作業に取り組む姿が見られました。高等部の作業学習を実際に体験することで、進学後の学習や将来の進路について考える貴重な機会となりました。



<ファーム事業部>

菜の花の種を収穫しました。



<クリーン事業部>

机や床を清掃しました。



<オフィス事業部>

紙に押印をする体験をしました。



<フード事業部>

衛生に気を付けながら、パン生地(卵・小麦粉)を成形しました。

教職員による施設見学会（東久留米市立さいわい福祉センター）

7月30日（木）に、社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会東久留米市立さいわい福祉センターで、教職員による施設見学会を実施しました。

さいわい福祉センターは、就労移行支援事業や生活介護事業をはじめ、17の事業を行う多機能型の福祉施設です。日中一時支援やショートステイなども実施しており、多くの方が利用しています。

見学では、利用者の方が制作したTシャツや装飾作品を見せていただいたほか、実際に作業に取り組んでいる様子を見学させていただきました。また、各事業で行われている支援や活動についても、使用している道具や施設について丁寧に説明していただきました。

見学を通して、卒業後の生活や進路について具体的にイメージする貴重な機会となりました。また、利用者が取り組んでいる活動や支援の工夫を知り、日々の授業を考える上で大変参考になりました。



東久留米さいわい福祉センターの事業について、一部御紹介します。

○就労移行支援事業（愛称：ピッコロ）

支援内容：受注作業、パソコン、清掃、農園芸、教材訓練、就職活動、職場定着支援など

○生活介護事業（愛称：ココナッツ）

支援内容：生活援助、創作活動、社会体験（外出など）、機能訓練、入浴など

○障がい者就労支援室「さいわい」

支援内容：職業相談、就労準備、求職活動、職場実習、職場定着、離職の調整と離職後の就労支援等の就労支援

○地域活動支援事業（愛称：ハーブ）

支援内容：リース・クラフト作成、農作業、運動、調理実習、買い物支援など

○都型ショートステイ事業・日中一時支援事業（愛称：コスモ）

支援内容：宿泊及び日中の一時預かり

上記をはじめ、様々な事業が行われています。

今後も、進路に関する情報を保護者の皆様にお伝えしてまいります。

コラム：家庭でできるキャリア教育

○役割を担う経験

家庭での家事やお手伝いは、キャリア教育の大切な学びの一つです。洗濯物をたたむ、食器を運ぶ、ごみを捨てるなどの活動を通して、「自分にもできることがある」「家族の役に立っている」という気持ちを育てることができます。結果だけでなく、取り組もうとする姿や続けようとする気持ちを認めることが、自信や将来の自立につながります。

○感謝の気持ちを伝える経験

お手伝いをしてくれたときに「ありがとう」「助かったよ」と伝えることは、子供の達成感や自己肯定感を高めることにつながります。自分の行動が誰かの役に立ったことを実感する経験は、人との関わりや働くことへの意欲を育てる大切な機会となります。